

# 聖愛

七月号

原町聖愛保育園

二〇〇六年 七月一日 発行

梅雨空の合間に見える太陽は、夏本番を思わせるような、強い日差しを感じます。子どもたちは水道の水の冷たさを求め、小さな子どもたちは、水を流しっぱなししながら気持ち良さそうな顔で、感触を楽しんでいました。もうすぐプール遊びも始まり、本格的な夏がやって来ます。

## 優しい子どもに育ってほしい

「お子さんはどのように育ってほしいですか？」という質問があったら、親が願う「優しい子ども」は、必ず上位に入っているのではないのでしょうか。子どもが泣いていたり、顔や腕などにキズがあったりするのを見たときに、状況を聞いて状態を判断しようとするよりも、「誰にやられたの?」とつい聞いてしまいがちです。子ども同士でも、友達にこのように話しかけている場面を見かけます。これまでどのように経験してきたのでしょうか。

誰?と聞かれた子どもは、痛いことや悲しいことを訴える間も、気持ちを分かってもらう間もありません。そこには原因や過程などはなく、やられたということだけがクローズアップされて、印象付けられてしまいます。

子どもは集団の中で、家族以外の人が自分の周りにいてさまざまに関わりあっていることを知り、自分というものを意識するようになります。ですから友達との関係を、大人の思いで介入しすぎるあまり誘導的に、やったとかやられたとかで認識させるようなことになってはよくありません。

優しさは、机上の勉強や「優しくしなさい」と言われて身につくものではなく、人との関わりの中で育つものです。「痛かったね」と共感してもらい、手当てをしてもらって安心して、時には「大丈夫」と励まされ、治ったような気がして気持ちが晴れる。気遣ってもらい、励ましてもらうことで感じ取ったことが心の中に育まれるのです。そこで肝心なのが、「友達は怪我しなかったの?」という、大人の相手を気遣った言葉を、子どもが聞くことです。

今は、「お互い様」の思いが薄いように感じます。相手のことも自分のことのように理解しようとする、大人の思いやりのある言動が、子どもの優しさが育つときに大きく影響するのではないのでしょうか。 園長 遠藤美保子

### 7月の保育目標 主題 0. 1. 2歳児「ねえ 見てて」 3. 4. 5歳児「楽しいな」

暗唱聖句：隣人を自分のように愛しなさい。 ルカによる福音書 10章 27節

年齢	保育目標	保育内容	保育者の配慮
0歳児	・関心のあるものに 保育者とふれて楽しむ	・ 温水遊び (沐浴も兼ねて) ・ タオルやバスタオルを使ったふれ合い遊び ・ 砂遊び ・ 散歩しながら探索活動 (ハイハイ、歩て)	・ 関心あるものに動き出すようになってきたことを大切にし、砂、温水あそびでも素材にふれて遊ぶことを喜べるよう遊具の提供、声かけなどを考慮し、工夫していく。 ・ 暑さにより、体調を崩しやすくなるので、衣服の管理や十分な休息に配慮していく。沐浴により肌を清潔に保ち心地よく過ごせるようにする。
1歳児	・水・砂・泥などの素材に ふれ、手指や全身を 使って遊び楽しむ。	・ 砂遊び 水遊び (洗濯ごっこ、泥、色水遊び、シャワー) ・ フィンガーペインティング ・ なぐり描き	・ 感触遊びが全身で楽しめるように、いろいろな遊びを提供し、保育者も一緒にやり喜びや驚きに共感する。 ・ 体力が消耗しやすい時期なので体調には十分注意し無理なく遊びが提供できるような時間配分や休息にも考慮する。
2歳児	・様々な素材に気づき、 見たり、触れたりして 体で感じる。	・ 砂・泥遊び ・マット遊び ・ 水あそび (色水・ジュースやさんごっこ・砂場で川作り) ・ 指先を使って (のりを使って貼る紙をちぎる、新聞紙をまるめる)	・ 砂、泥、水の感触に興味を示し、じっくり試す環境を設定する。 ・ 着脱の機会が増えるので、自分でしようとする気持ちを大切にしながら、方法を伝えたり一緒に行ったりして促す。
3歳児	・色々な遊び、活動に参加し、 楽しさを知らながら 友だちとの関わりを広げる。	<室内遊び> 糸引き絵 マーブリング 七夕飾りを作る ※1 水遊びで遊ぶものを作ろう ※2 (船、牛乳パックシャワー等) 色水遊び 水彩画 (筆を使って川の流れ)	・ 高さに対して恐怖を感じないよう、声をかけたり、下から支えたり様子を見ながら補助をする。 ※3 ・ ルールに対して理解できるよう、保育者も一緒に遊びの中に入りながら、少しずつ知らせていくようにする。 ※4
4歳児	・友だちと関わりながら 夏ならではの遊びを 楽しむ。	<戸外遊び> 登り棒、こぶこぶ山 ※3 ルール遊び (だるまさんが転んだ おどろみさん いま時) ※4 砂・泥遊び 川作り プール遊び・水遊び ※5 ボディペインティング ☆鼓笛隊 (つき) ※6	・ 好きな遊びをもっと楽しくしたいという気持ちをくみ取り、対応していきけるよう素材の提供や、アイデアを聞いて満足感を持って遊べるように導く。 ※2 ・ プールの中で宝探し、動物のまね、くぐるなどの遊びから、自然に水を体全体で感じていけるようにし、水に慣れるよう促す。また川作りにも参加し、水の流れを体で感じて遊べるようにする。 ※5
5歳児	・自分で決めたことや選んだ 遊びをじっくり行い、 楽しさを感ずる。		・ 個人差を考慮し無理なく誘い、友達と協力することの楽しさや大切さを伝えていけるようにする。 ※6 ・ プール遊びで、浮かんだり、泳いだり、もぐったりし、水の気持ちよさを体全体で感じられるようにする。 ※5 川作りでは友だちと考えながら進めていけるよう、助言しながら一つの目的をみんなで共有する。 ・ 個々のイメージや思いを尊重し、様々な発想を受け止めて作り出せるよう促す。 ※1

◎ 7月の予定◎

日付	園の行事	職員の予定
1(土)	親子遠足 愛情弁当の日	
3(月)		相双地区所長会議
5(水)	子育てサークル(レインボーG)	職員会議
6(木)	小人さんの音楽会	園内研修
7(金)	七夕お楽しみ会 保護者会役員会	
9(日)		IEP 研修
10(月)	プール開き	
11(火)	合同礼拝	聖書研究めぐみの会
12(水)	ヨッシーランド訪問(4・5歳児) 子育てサークル(ブーさんG)	マネージャー会議
13(木)	ポップコーン(クラブ活動)	夏祭り話し合い
14(金)	しゃりん梅訪問 夏祭り各クラス話し合い7:00	構造化会議
15(土)	卒園児交流事業(わんぱく遠足について)	
17(月)	休園(海の日)	
18(火)		聖書研究タラントの会
19(水)	子育てサークル(レインボーG)	ケース会議
20(木)	小人さんの音楽会	
21(金)	川遊び(4・5歳)	
22(土)	サマーボランティア開始	
25(火)	しゃりん梅訪問	
26(水)	わんぱく遠足	給食会議
28(金)	避難訓練(花火指導)	
29(土)	夏祭り(保護者会主催)	

プール開き

7月10日(月)

プール遊びが始まります。

- 水 着～自分で着脱できるシンプルなデザインのもの。(女児はワンピースタイプのもの。)  
またはプール専用の布パンツ。
- 泥遊び用ハット～汚れてもよいもの。普通の布パンツ。
- タオル～手ぬぐいサイズで、ゴムのついていないもの。バスタオルは不要です。



※10日まで持たせてください。(1つにまとめて袋に入れる)  
※名前ははっきりと記入し、持ち物はお子さんと確認して下さい。  
※伝染性疾患や体調不良の時は、プール・泥遊びができません。  
なお、体調が悪いときは、朝のうちに保育士にお知らせ下さい。

夏祭り・フードバザー (保護者会主催)  
7月29日(土) 16:00～ 聖愛保育園園庭



地域の方々もお誘いして、遊びやゲームなどで楽しんでいただきます。聖愛保育園恒例の仮装大会なども計画していますので、ぜひご参加ください。  
保護者会役員会で決定した、食べ物や遊びのコーナーを各クラス毎に担当していただきます。ご協力をよろしくお願い致します。

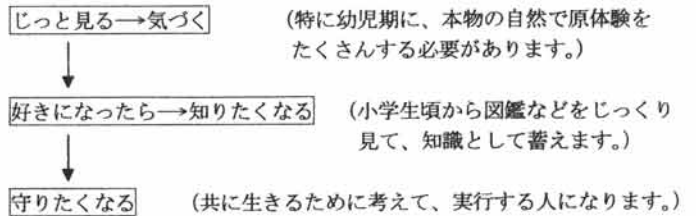
★夏祭りについての各クラス話し合い  
7月14日(金) 午後7時～

2005年度 社会福祉法人ちいろば会の  
会計報告は、別紙の通りです。

6月17日に行われた自然遊び教室後、  
自然遊び教室より 中山 康夫氏に、お話を伺いました。

東北大学の川島隆太氏の研究によると  
大人の脳が100とすると、2～5歳までに90%が出来上がる。  
あとの10%はその後の知識。  
2～5歳までにやっておかなければならないことは、「感覚を鍛える」こと。  
見る・聞く・触れる・味わう・嗅ぐなどを豊かに体験することです。  
しかし、今の子どもたちは、バーチャルリアリティ(仮想現実感)のなか  
であたかも体験したかのように生活していて、本当の体験をしていない。  
大人は意識して、子供たちに自然体験のきっかけを作っていかなければなり  
ません。‘感じ取る’ことは人間にしかできないことです。

環境教育の到達点は.....



『自然は教えるのではなく、自然から教わる。』

これからの保育でも、自然を保育の中心に  
据えた展開を意識して、進めていきます。

川で遊ぼう!!

『川』遊びを楽しめる季節です。  
「教えるのではなく体験!」を、  
沢山の感覚を磨く遊びを考えて  
いきたいと思えます。  
4, 5歳児は、親子遠足の他にも  
わんぱく遠足、川遊びを計画して  
います。



軽い棒のつたてを細  
い網があれば、川の生きものを捕まえられるよ。



- ① 河原を歩く(スリッパ履き)  
石はゴツゴツ  
ガラス感覚が磨かれるよ。
- ② 浅瀬に入る  
川の中に足を入れれば  
川を覗くられるよ  
川の中を覗く遊べるよ。
- ③ 川の中を歩いてみる。  
水の中をじっと見るには...  
箱や網があれば、水中に沈めれば  
空気が入る底を覗いて、魚を捕まえられるよ。

★ 中山先生による第2回自然遊び教室(川遊び)を、9月16日(土)  
に予定。お楽しみに。  
前回参加できなかった方も、ぜひ参加して下さい。

わんぱく遠足 卒園児交流事業 26日  
つきぐみさんと小学4, 5年生と一緒に川遊びを楽しみます。  
いかだを作り、川のながれを体験して、川遊びを満喫します。  
行き先: 鹿島区、真野川上流『立石』

室内履き(ビーチサンダル)について  
7月～9月まで、通気性や衛生面を考えて、室内履きをビーチサンダルにします。安全面を考えて、突っかけて履くタイプではなく、  
親指と人差し指ではさむ物にして下さい。  
これは、はな組以上としますが強制ではありません。  
※外履きの靴は、遊びや安全性から、従来通り足のサイズに合った  
ズック靴とします。(ビーチサンダル、サンダルは禁止。)

保育体験

南相馬市社会福祉協議会主催、サマーショートボランティアスクール(体  
験学習)の学生が7月22日～8月24日、先生の手伝いをしながら園児  
たちと一緒に過ごし、福祉の仕事などについて学びます。ご承知下さい。